

現実行の
お手伝い

介護付き旅行をひろめたい

超高齢社会!! 日本を元気にしていくための提案

① 地域の世代が
住む高齢者へ



2025年 2200万人が 75歳以上



介護士がわたくしが思う所ですが
老人施設には元気な方が沢山おられます。



多くの
理由から生活に制限を

⚠ 元気な高齢者の力を奪ってしまう?

親子の絆を深める仕事

子どもは外でバリバリ働いてお金を稼ぐ。

親は施設で安楽した生活。…ですが、
施設入居時はマメに顔を出そうと思っていても
同じ愛着、同じ会話、訪問回数も減り、心も寂しく…

そこ…

介護付き旅行でみんなHappy

- 元気なお年寄りを増やす
- 国民全体の意識を変えていく
- 日ごろできない親子旅行機会に

旅館に向かう
リハビリがんばるぞ!



一緒に旅館に
向かうのがどう
親孝行として
お姉さんも嬉しい

旅館泊まり
サポート付
皆さんで喜ぶ
旅館へ出でましょ

旅館泊
国内旅行の活性化

旅館泊
新規の顧客開拓

日本
医療費介護が減る→経済に貢献



介護付き旅行でサステナブルな社会へ

- ➡ 全国の大手旅館・ホテル・アパートメントや人材派遣会社と連携し、地域の
今現実にマッチングすることごと、➡ 安心価格で実現することが可能になります
- ➡ お問い合わせは「やーたび(家族)」へ♪

介護士がお手伝いします。ご家族で楽しい旅行にお出かけください！

八田たか子からの自己紹介

～超高齢社会 日本を元気にしていく為の提案 介護付き旅行を広めたい～

八田 享子(やつだ たかこ) 大阪生まれ 50歳

子供3人 孫3人 父90歳(要介護5) 母85歳 家で父を介護してくれています。

介護の仕事に携わって13年になります。

特別養護老人ホーム・訪問介護・デイサービス・サービス付き高齢者住宅の介護職を経て、現在は有料老人ホームの相談員をしています。介護職から相談員に転職した理由は、2025年の団塊の世代が後期高齢者になり2200万人が75歳になるという現実がそこまで来ているという危機感からです。「今ままの介護をしているとどうなってしまうの?」…サービス付き高齢者住宅には比較的元気な高齢者の方が入居されます。施設側の職員の立場としては、転倒されてはいけない、感染症が広がってはいけない等、様々な理由から生活に制限を作ってしまいます。実際に家族からの訴訟も多くあるため、そのような状況になってしまします。元気な高齢者の力を奪ってしまっている、元気でないお年寄りを作ってしまっている。そんな危機感を感じていました。これからは元気なお年寄りを増やしていくかないと!国民全体の意識を変えていかないと! そんな仕事をしなければと思いました。

そこで考えたのが「介護付き旅行を広める」という事です。子供は外でバリバリ働いてお金を稼ぐ。親は施設で安心した生活。でも預けっぱなしではダメ! 施設入居当初は、マメに顔を出そうと思っていても、同じ景色…同じ会話…刺激が減っていき…訪問の回数も減っていく…?心の中は寂しくなっていく…子も親も… 親子の絆を深めていただくお手伝いがしたいです。それが可能になる一つとして介護士がサポートする旅行やお出かけです。日本全国に広めていきたいと思っています。すでに多くの介護旅行の会社があるのですが、あまり世間に認知されていないようです。介護士の私自身も介護付き旅行のことをあまり知らなかったのです 私の心の中では、ハードな仕事や毎日の生活に追われて父の介護を母に任せっきりにしていることを、申し訳ないと思っています。母はヘルパーさんのお力を借りて父の介護を一生懸命取り組んでくれています。ヘルパーさんとの関係は両親にとって、とてもよい刺激になっているようです。訪問介護、デイサービス、出張整体師さん達と関りを楽しんでくれています。

昨年、両親と姉と私の4人で近くの温泉に一泊旅行に行きました。お部屋には展望のよい家族風呂があり、父のお風呂介助をして、入浴後は両親共々お昼寝しました。お昼寝している間に、姉妹二人でゆっくり温泉に入り思い出話に花を咲かせ楽しい時間を堪能しました。父も母も姉もとても喜んでくれました。でも一番嬉しかったのは私や姉だったと思います。日頃できていない親孝行ごっこをさせてもらえた事。申し訳ない気持ちも持っていたので、少し心が軽くなりました。また、旅行に行こうねと家族で約束。父も次の旅行に向けてリハビリを頑張ってくれています。私も仕事頑張る目標が出来ました。私みたいな思いをお持ちの方は多いのではないかと考えます。介護付き旅行を広める。バリバリ働いている私たちの世代に広めていきたいです。

「親孝行のお手伝いをしたい」「そして日本を元気にしたい」と考えています。